単位ベクトルi,i,kの間のベクトル積

 $\mathbf{i} \times \mathbf{j} = \mathbf{k}$ $\mathbf{j} \times \mathbf{k} = \mathbf{i}$, $\mathbf{k} \times \mathbf{i} = \mathbf{j}$, $\mathbf{i} \times \mathbf{i} = \mathbf{j} \times \mathbf{j} = \mathbf{k} \times \mathbf{k} = 0$ を用いて以下の問に答えよ。

- (1) 位置ベクトルを $\mathbf{r}=x\mathbf{i}+y\mathbf{j}+z\mathbf{k}$ 、運動量ベクトルを $\mathbf{p}=p_x\mathbf{i}+p_y\mathbf{j}+p_z\mathbf{k}$ とする とき、角運動量 $\mathbf{l} = \mathbf{r} \times \mathbf{p}$ の三成分 l_x, l_y, l_z を求めよ。
- (2) 力を $\mathbf{F} = F_x \mathbf{i} + F_v \mathbf{j} + F_z \mathbf{k}$ とするとき、力のモーメント $\mathbf{N} = \mathbf{r} \times \mathbf{F}$ の三成分 N_x, N_y, N_z を求めよ。
- (3) 運動方程式 $d\mathbf{p}/dt = \mathbf{F}$ を用いて、 $d\mathbf{l}/dt = \mathbf{N}$ が成り立つことを示せ((1) で求 めたlの三成分をそれぞれ微分し、それが(2)で求めたNの三成分にそれぞれ 等しいことを示す)。
- 2次元の極座標系 (r, θ) で、質点の速度と加速度の成分はそれぞれ、

 $v_r = \dot{r}$, $v_\theta = r\dot{\theta}$, $a_r = \ddot{r} - r\dot{\theta}^2$, $a_\theta = 2\dot{r}\dot{\theta} + r\ddot{\theta}$ で与えられる。 質点の質量をmとして、以下の問に答えよ。2次元極座標系の単位ベクトル $\mathbf{e}_r, \mathbf{e}_\theta, \mathbf{e}_z$ の 間のベクトル積(i,j,k間のベクトル積と同様)を用いること。

- (1) この質点の角運動量 $\mathbf{l} = \mathbf{r} \times \mathbf{p}$ の大きさ $l \times r$, $\dot{\boldsymbol{\theta}}$ で表せ。
- (2) dl/dtをr, \dot{r} , $\dot{\theta}$, $\ddot{\theta}$ で表せ。
- (3) この質点に働く力が中心力の時、lが一定に保たれる (dl/dt=0) ことを示せ。

